



個性 自律 創造

学校経営の方針

本校は、生徒の多様な個性が輝く高校であることを目指し、これまで確かな歩みを進めてまいりました。この歴史と伝統を引き継ぎつつ、さらに、激しく変容する社会を生き抜く力を身に付け、次代を担う生徒を育成するため、令和4年度の本校のスローガンとして、「生徒一人一人が持つマイ・ストーリーを大切にする。」を掲げるとともに、「本校で育成を目指す資質・能力」を定めました。これらを踏まえ、下記の4項目を行動指針として、本校ならではの専門的な教育、創造的な教育をさらに追求してまいります。

- 本校で育成を目指す資質・能力
- 他者との協働を目指し、多様性を認める力
 - 自己実現に向けて、自分自身を形成する力
 - 既存の概念にとらわれないチャレンジ精神

行動指針

- 1 学業と表現活動を高いレベルで両立させ、チャレンジ精神あふれるたくましい生徒を育成します。
- 2 「学びの深化」「コミュニケーション」「多様性の中の特色」を基軸とする学校運営を行い、個性的・自律的・創造的な生徒を育成します。
- 3 丁寧な指導により生徒の内面的なキャリア形成を支援するとともに、各系列の特色を生かしたキャリア教育を推進し、生徒の進路目標の実現を図ります。
- 4 地域と連携した様々な教育活動に取り組むとともに、外部への情報発信を積極的に行います。

校長 小林寿宣

本校はいわき地区唯一の総合学科高校として、生徒一人一人が目標への挑戦を通して躍動・感動・成長する学校です。

<総合学科の特色>

- 将来の職業選択を視野に入れ、生徒自らが進路への自覚を深める学びができます。
- 幅広い選択科目の中から、生徒自らが科目を選択し、個性を生かした主体的な学びができます。

重点目標①

学びの充実

◎総合学科の特性を生かした魅力ある教育課程の整備及び実践に努め、思考力・判断力・表現力の向上を目指す質の高い教育を行う。

- 総合学科としての特色を生かして、大学進学から就職まで、幅広い進路希望の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。
- シラバスに則り、アクティブ・ラーニングやICT機器を活用した授業を計画的に行う。
- 図書室と各年次・各教科との連携を進め、生徒の学習活動に対する支援を行う。
- 運動の特性・楽しさを理解させ、生涯スポーツにつながる力を育成する。
- 大学、行政、各種団体及び地域との連携を進め、国際社会に主体的に生きる力を養う。

【重点指標】

- ・学習の習慣化を図り、基礎学力を定着・向上。(1年次)
- ・課題提出の徹底及びclassiを活用した学習の定着。(2年次)
- ・進路目標実現に向けた学習の取り組み方の習得。(3年次)
- ・1人1台端末を含めたICT機器を有効活用した授業の実践。(教務部・情報科)
- ・本の年間貸出冊数 3,000冊の維持・向上。(図書部)
- ・保育施設及び社会福祉施設、大学、特別支援学校と連携した学習の充実。(看護・福祉科)

重点目標②

表現活動の充実

◎総合的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を育成する。

- 各年次・各系列の教育活動において、継続的に外部の指導者との連携を進め、表現活動をより充実させる。
- 多様で充実した部活動・委員会活動等を展開する。
- 生徒主体による生徒会行事やボランティア活動を一層推進する。
- 各教科・科目の授業における表現活動の充実を図る。

【重点指標】

- ・ICT機器を取り入れた発表等の活動による、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上。(2年次)
- ・各教科や系列内のコラボレーション行事による、生徒どうしの対話と協働の機会確保。(芸術・表現系列)
- ・公募展や美術展への積極的な出展。(美術科)
- ・ファシリテーション研修などによる多面的なコミュニケーション教育の実践。(演劇科)
- ・創作活動を通じた、自己を見つめる姿勢の育成と、個の違いを認め互いを生かし合う姿勢の育成。(演劇科)

重点目標③

キャリア形成

◎総合学科の特性を生かし、生徒が主体的に取り組むキャリア教育を推進する。

- 生徒一人一人に対する理解を深め、学力の伸長やキャリア形成を促し、進路目標を実現させる。
- 基本的な生活習慣の確立、安全教育・情報教育の徹底に努め、自律的・主体的な人間を育成する。
- 感染症予防も含めた健康教育を充実させ、健康の保持増進に努める態度を養う。
- 学校の教育活動全体を通して、主権者として必要な自覚を持たせる。
- 各種資格試験、検定に積極的に取り組ませる。

【重点指標】

- ・マナー、身だしなみ、時間厳守等を自ら実践できる主体性のある人間の育成。(生徒指導部)
- ・地域探究活動における「ふくしま創生人材育成事業」の活用と、外部団体との継続的な連携。(総合学科推進部)
- ・成年年齢を18歳とする民法改正に応じた消費者教育や、納税者、主権者としての自覚と資質の育成。(地歴公民科)
- ・漢検準2級20名以上・2級5名以上合格、英検準2級25名以上・2級5名以上合格、数検準2級5名以上・2級1名以上合格、家庭技術検90%合格、情報処理検1級5名合格、認知症イフパートナー・住環境コーディネーター3級70%以上合格、手話検4級90%以上合格。(以上、関係各科・系列)

重点目標④

情報発信・共有

◎校務の情報化・共有化を推進するとともに、各年次、部、系列間の連携をより深める。

- HPや各種印刷物の活用、学校説明会など、様々な機会を捉えた情報発信を充実させる。
- 保護者への情報提供に努め、本校の教育活動への理解を深めて頂くようにする。
- 火災、自然災害、感染症等に対する危機管理体制を整備する。
- 学校評価アンケート結果に基づき、教育活動の改善を行う。
- 「風通しのよい」職場環境づくりを一層推進することにより、教育環境の向上を図る。

【重点指標】

- ・学校HPでの情報発信と携帯メール連絡網の効果的な運用。(教務部)
- ・「SOGO PRIDE」の定期発行(生徒指導部)、「進路便り」の年6回以上発行(進路指導部)、「家庭クラブ新聞」の発行。(家庭科)
- ・避難訓練の重要性を指導し、実際を想定した訓練を行うことによる避難時間の短縮。(保険厚生部)
- ・Googleドライブの活用による校務の情報化と共有による業務効率化。(教務部)
- ・超過勤務の削減、年次有給休暇の積極的取得。(事務部)

※上記の重点目標は、学校経営方針及び各年次・部・系列・教科の努力目標をもとに、学校全体で重点的に取り組む内容をまとめたものであり、自己評価及び外部評価の対象となるものです。